



# 御所東だより

学校評価号

京都市立御所東小学校  
令和2年12月23日  
校長 高橋 明希

10月に第1回学校評価アンケートを実施いたしました。アンケートへのご協力ありがとうございました。アンケート結果について分析し、前期の学校教育活動についてまとめました。分析する中でわかった成果と課題をしっかりと認識し、改善に向けて取り組んでいきたいと思ひます。

学校教育目標

笑顔 夢 ひらめきいっぱい御所東

めざす子ども像

探究する子 挑戦する子 やさしく、たくましい子

## ～確かな学力～

目標や課題に向かって挑戦したり、疑問に思ったことを探究したり、仲間と協力しながら取り組んだりできていますか。

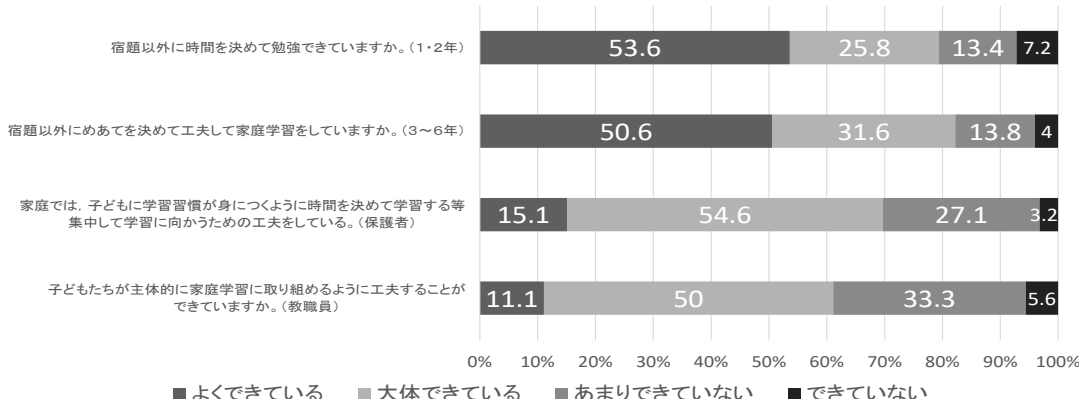
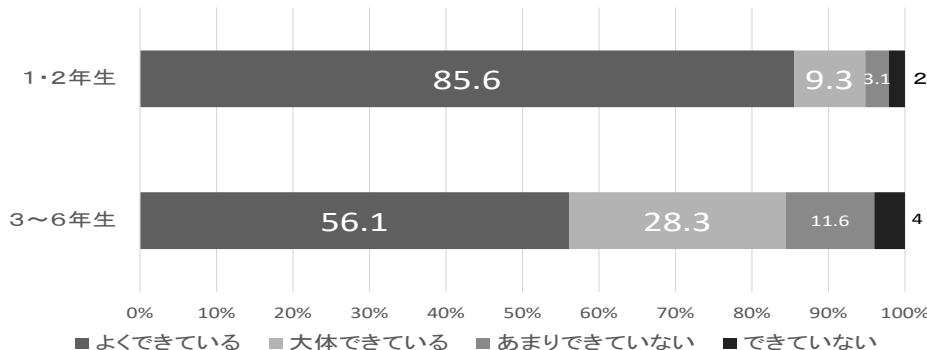
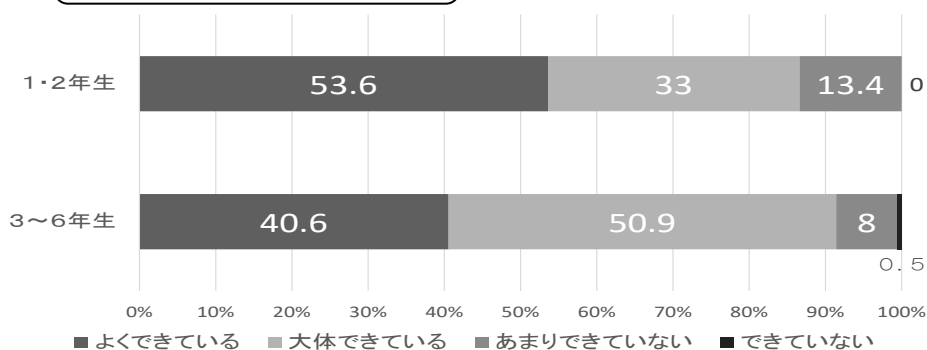
低学年、中・高学年どちらの児童も「よくできている」「大体できている」と答えた割合が80%を超えていることや「できていない」と答えた割合が1%以下であることから、コロナ禍でも、自分なりの目標をもちながら学習に向かっていることがわかります。感染症対策のため、ペアやグループ等の学習形態がとりにくい中での授業でしたが、力や心を合わせて学習を進めることができたと考えられます。

生活科・総合的な学習の時間は好きですか。

低学年は94.9%、中・高学年は84.4%の児童が「好き」「大体好き」と答えています。昨年度より、国立教育政策研究所の研究指定を受け、生活科・総合的な学習の時間の研究を進めています。今年度は、休校期間が長く続いたため、学習の内容を修正しながらも「本物」との出会いを大切に学習を進めています。「知りたい!」「やってみよう!」という気持ちをふくらませながら探究力の育成に取り組んでいます。

家庭学習について

家庭学習について問う質問をしました。児童の回答では、約80%もの児童が「よくできている」「大体できている」と答えていますが、「よくできている」だけの割合では50%と低いです。保護者の回答では、「よくできている」が15%、教職員では「よくできている」が11%にとどまっています。「家庭学習のススメ」を活用しながら、教職員は主体的な家庭学習を目指し内容の工夫に取り組み、保護者の皆様には子どもたちの家庭学習の習慣定着に向けて取り組んでいただき、子どもたちは家庭学習に自分から取り組むというように、三者で取組を進めていくことが大切です。



## ～豊かな心～

自分から進んであいさつできていますか。

どの学年の児童も非常に高い割合で「よくできている」と答えています。先生からのあいさつに返すことができたり、あいさつの声が小さかったりすることもあります。きっと今までの自分よりも「進んであいさつできている」と自覚していると考えられます。学校長を先頭に、教職員もあいさつの励行に取り組んでいます。(教職員アンケート結果参照)学校の中だけでなく、地域に出た時もしっかりとあいさつができる子どもたちであるよう今後も継続して取り組んでいきます。

自分のよいところが言えますか。

肯定的に答えている児童が、上の学年ほど低くなる傾向にあり、中・高学年では70%より低くなっています。自分のよいところを自信もって言える人は大人でも少ないかもしれませんが、子どものよいところを大人の言葉かけによって自覚できるように働きかけていくことが大切です。教職員は子ども一人一人を大切に授業や学級づくりを進め、保護者の皆様には日常の子どもの頑張りを認める行動を進めていただき、自分のよさに気付ける子どもを育てていきたいと考えます。

